

TIC NEWS

vol. **140**
2021.7

(公財) とやま国際センター

〒930-0856 富山市牛島新町5-5

インテックビル4F (タワー111)

TEL (076) 444-2500

FAX (076) 444-2600

E-mail : tic@tic-toyama.or.jp

URL : <http://www.tic-toyama.or.jp>



コロンビア川峡谷

ポートランドから東へ約50km地点から続く国定景勝地です。素晴らしい眺望と多数のハイキング・トレイルコース、90以上もある滝などの景観が楽しめます。

～富山県・オレゴン州友好提携30周年～

今年で富山県とアメリカ合衆国オレゴン州は友好提携30周年を迎えます。

就任のご挨拶

(公財) とやま国際センター 理事長 横田 美香



このたび、公益財団法人とやま国際センターの理事長に就任いたしました。

とやま国際センターは、富山県の民間レベルでの国際交流を推進するため、県内各界各層の協力を得て、昭和59年に設立されました。以来、県民の皆様に関われ、外国人の方々に信頼される機関として、国際交流、国際協力や多文化共生の推進に取り組んでまいりました。

この間、県内在住の外国人は大きく増加し、本年1月時点で約2万人となっており、県内在住の外国人の皆様、そして日本人がともに安心して働き暮らせる地域づくりを一層進めていくことが大切になっています。

当センターでは、近年、外国人の方々を対象とする日本語学習支援や災害時支援の取組みのほか、一昨年には「富山県外国人ワンストップ相談センター」を設置し、外国人の方々に対する、一元的かつ多言語での情報提供や相談対応を行うなど、機能の充実を図ってきています。

こうした中で、昨年来、新型コロナウイルス感染症の影響で、国際的な往来が大きく制限されました。県内在住の外国人の方々が安心して生活できるよう、当センターは、外国人の方々に寄り添ったきめ細かな支援や、オンラインの活用など、多様な事業展開を実施していきます。

今後とも、県をはじめ市町村や各国際交流団体等関係の皆様、県民の皆様と手を携えて、国際的に開かれ、県内の方々も外国の方々も暮らしやすい富山県の実現に貢献してまいりますので、皆様の一層のご指導とご鞭撻をお願い申し上げます。

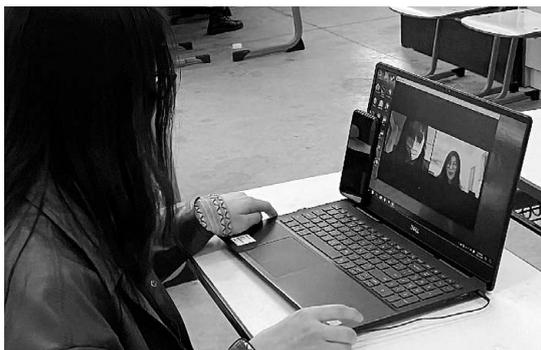
富山県大連事務所から 桜井高校と大連外国語大学の学生がオンライン交流

富山県大連事務所は3月22日(月)、富山県立桜井高校と大連外国語大学とのオンライン交流会を開催し、日中双方の学生18名が日本語や英語での会話を楽しみました。

大連外国語大学の学生は流暢な日本語で自己紹介したり、日本語学習のきっかけを話したりしました。また、桜井高校の生徒は、英語を活用して写真を見せながら日本の食べ物やアニメ、名所などを紹介したりして、相互の理解を深めました。富山の生徒たちは、「貴重な体験ができて、楽しかった!」「また、交流したい!」「いつか、中国大連にも遊びに行ってみたい!」と話していました。

また、オンライン交流の開催に先立ち、大連市外事弁公室の劉舫副主任が「参加学生の皆さんが将来日中の架け橋となる人材になることを期待している」と述べられたほか、桜井高校の吉田幸市校長からは「これを機会にいろいろな価値観の交流ができるようになれば」とのお言葉をいただきました。その他、大連外国語大学日本語学院の于飛院長、富山県国際課の吉田徹課長からも挨拶いただきました。

富山県大連事務所は、小学校や中学校などもターゲットに含め、様々なレベルでのオンライン交流を今後も続けていく予定です。なお、6月には富山大学と遼寧大学との第1回目の交流、桜井高校と大連外国語大学との第2回目の交流が行われたところです。



「一対一」のオンライン交流の様子



オンライン交流全体の様子 (記念撮影時)

外国語の絵本よみきかせ親子の会

日時：毎月第2土曜日 10:00～11:00

場所：環日本海交流会館

県内在住の外国人のお父さん、お母さんによる外国語の絵本の読み聞かせです。

外国籍の子どもには母国語や母国の文化に接する機会を、日本人の親子に対しては海外の文化に出会う機会を提供することを目的に、各国の童謡を歌ったり、遊びに触れたりしながら、毎回和気あいあいとした雰囲気での読み聞かせをしています。

4・5・6月は英語の読み聞かせで、参加者からは「小さいうちから外国語を耳から学習し、触れることができるので、外国語教育の第一歩として気軽に参加できるのがうれしい」といったお声をいただいております。

— 今後の予定 —

7月10日(土) ポルトガル語

8月21日(土) 英語

9月11日(土) ロシア語

語学講座が開講しました！

日時：各曜日 18:30～20:00 年間30回

場所：(公財)とやま国際センター 研修室

講座名		開催時期	曜日	講師	定員	内容
中国語	入門	6/4～ 翌3/11	金	劉 楠	20名	中国語を初歩から学びます。発音から始め、簡単な会話を学習します。
韓国語	入門	6/3～ 翌3/10	木	天坂 仁美	20名	ハングル文字、基本的な文法の学習を通し、韓国語を初歩から学びます。
	初級	6/7～ 翌3/14	月	李 ヘミン	10名	1年程度学習したことがある人を対象に日常会話を中心とした学習を行います。
ポルトガル語	初級	6/2～ 翌3/9	水	山下アリーネ	10名	基礎的なポルトガル語の日常会話を中心に学習します。
英語	初級	6/2～ 翌3/9	水	マチュ グラセ	20名	簡単な日常会話ができる人を対象に、会話中心の学習を行います。
ベトナム語	入門	6/7～ 翌3/14	月	ホアン ティ チャム	20名	ベトナム語を初歩から学びます。発音から始め、簡単な会話を学習します。

6月2日を皮切りにスタートした語学講座。本年度も感染症対策をとりながら、全部で6クラスが開講しました。ネイティブの講師から学べるのが、この講座の魅力。これからのお申込みが可能な講座もありますので、お問合せ下さい。皆様の参加をお待ちしています！

(例年実施しているロシア語(入門)、中国語(初級、中級)は講師の来日の見込みが立たないため開催を見送っております。)

今年度新たに語学講座を担当する講師から一言！



李先生(韓国語初級)

안녕하세요! (こんにちは) 韓国語初級講座を担当します韓国国際交流員の李^イ該敏^{ヘミン}です。韓国の文化に触れながら、日常会話を中心に勉強していきます。韓国語のスキルアップに加え韓国への理解も深めましょう。とやま国際センターでお待ちしています。

ポルトガル語講座を担当します国際交流員のアリーネです。ポルトガル語、日常会話、ブラジルについていろいろ紹介していきます。文法にとらわれず、ブラジルについての理解を深めながら、楽しく一緒に勉強しましょう。



山下先生(ポルトガル語初級)

STATE OF OREGON

United States of America

祝 富山県・オレゴン州友好提携30周年



Where's the OREGON??

オレゴン州はアメリカ西海岸沿いに位置し、北にワシントン州、南にカリフォルニア州と接しています。

「全米で最も住みたい街」にも選ばれたオレゴン州最大の都市ポートランドは、美しいダウントウンと公園、レストランや芸術文化も充実した、LOHAS（健康的で持続可能な生活様式）※の最先端を行く都市。また、環境先進都市、若者が集まる起業家の街としても有名です。

※ Lifestyles of Health and Sustainabilityの略



① ポートランド都市圏

映画「スタンドバイミー」のロケ地としても知られるポートランドですが、地元で獲れる新鮮な食材が集まる「美食の街」としても有名です。また、「市内にあるブリュワリーの数が世界一」というクラフトビールの街でもあります。醸造所巡りツアーでは、市内の厳選された醸造所をガイドと見学、試飲して回ります。散歩しながら巡るのはブリュワリーがひしめくポートランドならではの風景です。



② オレゴンコースト

全長580kmにわたるオレゴンコースト。まずはポートランドからロウワー・コロンビア・ハイウェイを走り約2時間でアストリアへ。ダウントウンには歴史ある低い石造りの建物が連なり、オールド・アメリカの雰囲気を醸し出しています。映画「グーニーズ」はここアストリアが舞台。アストリアから南へ約40km、キャノンビーチに着くと、ヘイスタック・ロックが目の前に広がります。ビーチ周辺でショッピングやグルメを堪能するのもおすすめです。



③ マウント・フッド & コロンビア川渓谷

スキーやハイキング、釣りなど四季を通して様々なアウトドアアクティビティを楽しめます。雄大なコロンビア川渓谷の散策や滝巡りも人気です。



⑤ オレゴン南部

暖かな気候、必見のクレーターレイク国立公園と大自然、文化やアート、歴史ある街など、見どころ満載です。

④ ウィラメット・バレー

実はワインの名産地としても有名なオレゴン州。肥沃な大地ですくすく育った「オレゴン・ピノ」には、世界中にファンがいます。ウィラメット・バレーには小さなワイナリーがたくさん！お気に入りの一本を見つけてみてはいかがでしょうか。



第25回富山カップ 日本語スピーチコンテスト最優秀賞

Tanner Arakaki さん “コロナのおかげで”

皆さんこんにちは。私は新垣タナーと申します。パシフィック大学の4年生でビジネスと日本語を専攻しています。どうぞよろしくお願い致します。

皆さん、私のタイトルを聞いて「え？」って思った人はいませんか。そういう反応をしてもおかしくないと思います。

新型コロナウイルスのせいで今まで普通だった生活がもう普通ではなくなりました。もちろん私もそうです。2019年の9月から2020年の7月まで名古屋外国語大学に留学するはずでしたが、コロナの影響で急に2020年の3月に留学が中断され、実家のハワイに帰されました。留学の後半が4月に始まるはずだったので、とてもがっかりして落ち込みました。

皆さんにとっても今は最悪な時期で、嫌なことしかないと思っているかもしれません。しかし「コロナのおかげでこれができた」とか「コロナのおかげで成長できた」など思ったことはありませんか。私はコロナ禍でも達成できたこともあったので、それについて3点話したいと思います。

まず、コロナ中に思ったのが、人と話すことが大事だということです。これを聞いて「当たり前でしょ」と思っている人はたくさんいるかもしれません。正直に言うと私はシャイで人見知りなので、人とあまり話さなくても大丈夫だと思っていました。しかし、コロナで人と会う機会が減り、寂しいと思いました。ですから、やはり人と話すのはとても楽しいことで大事なことで気付きました。それで、人ともっと話したいと思い、インスタグラムなどのSNSで積極的に人と交流するようになりました。このように、コロナのおかげで、前より社会的になれた気がします。

次に、新しい趣味を見つけて、それを続けることによって、自分の自信になったことがあります。それは体を動かすことです。コロナ太りをするのが嫌で、毎日30分から1時間ぐらい縄跳び、筋トレ、ランニングなどをしていました。その結果、去年から体重を3、4キロ減らすことができました。体の外見の変化にも気付き、「やればできる」と徐々に思うようになり、もっとポジティブな人になれた気がします。もし、コロナがなければ、運動を始めてそれを頑張って継続させることは難しかったと思います。

3つ目はコロナのおかげで自分がしたい仕事を見つけることができました。それはSNS関係の仕事です。コロナ中は家にいることが多いので頭のなかでいろんなことを考えていました。それでパツと思いついたのが日本語を楽しく教えるインスタグラムのアカウントを作ってみようということでした。去年の12月に始め、今はありがたいことに16,000人の方がフォローしてくれています。この経験をもとに、人々にSNSをいかに有効に使えるかを伝える「SNSコンサルティング」という仕事をしたいと思いました。

まとめますと、コロナ禍でやりたいことができなくて、大変な思いをしている人はたくさんいると思います。しかし、それで落ち込むより、コロナのおかげで達成できたことを考えたら前向きになれるし、人としてさらに成長できると思います。私自身も嫌なことはありましたけど、コロナがなかったら今の自分はなかったと思うので結果良かったと思います。

今は大変な時期ですが、みなさんと一緒に乗り越えられたらいいなと思っています。スピーチはここまでです。ご清聴ありがとうございました。

※2021年4月にオンライン開催されたスピーチコンテストで発表されたものです。



⑥ セントラルオレゴン

高原の美しいゴルフ場で雄大な景色を見ながらコースを回ってみてはいかがでしょうか？ 地元のカウボーイが今でも賑わい、西部開拓時代の面影をそのまま残す街を訪れてみるのもおすすめです。

⑦ オレゴン東部

ヘルズ・キャニオン、ペインテッド・ヒルズの美しい地層を見にマウンテンバイクで散策。興味深いオレゴン・トレイルの開拓史を学んだり、先住民文化に触れる探訪もおすすめです。





JICA × SDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標)

今や世界共通のテーマとして、多くの人々の合言葉となったSDGs（持続可能な開発目標）。JICAでも様々な形で、このSDGsの目標達成に向けて取り組んでいます。皆さんにも身近ないくつかの事例をご紹介します！

【開発教育支援事業】

- ① 国際協力出前講座の実施
JICA海外協力隊の体験談のほか、国際協力とSDGsに着目した出前講座の実施、学習教材の提供
- ② JICA国際協力中学生・高校生エッセイコンテストの実施
2021年テーマ：
「私たちと地球の新しい未来」
(募集期間：
2021年6月7日～9月11日)

【草の根技術協力事業】

- ③ 日本のNGOや自治体、大学などが自らの技術や経験を活かして提案した途上国への協力活動を、JICAが支援し、協働で実施

【民間連携事業】

- ④ JICA中小企業・SDGsビジネス支援事業：開発途上国政府とのネットワーク・信頼関係・ノウハウを生かし、途上国へのビジネス展開を検討されている企業支援を実施



***** 「JICA海外協力隊」を身近に感じよう!! *****

JICA北陸主催：オンラインセミナー「世界とあなたがつながる場 JICA海外協力隊ひろば」

7, 8, 9月にも開催予定！ 詳しくはこちらをどうぞ→→→→→→→→

- 7月24日(土) 協力隊への第一歩！派遣前訓練ってなんだろう？
- 8月21日(土) スポーツで世界を変える！スポーツ×国際協力
- 9月 現在計画中



JICA海外協力隊からの現地レポート

— 番外編 コロナ禍で帰国、今の思い —

2020年3～4月に新型コロナウイルスの影響により一時帰国を余儀なくされたJICA海外協力隊員、また、帰国後、再赴任できず協力隊の任期を終了した隊員もいました。今回はそんな富山県の協力隊員の生の声を紹介します。

2019年度 1次隊 山田 智也（やまだ ともや）さん（派遣国：タンザニア、職種：電気・電子設備）



私は2019-1次隊として2019年8月にタンザニアに派遣されました。職種は電気・電子設備で、業務内容としては現地の職業訓練校の学生に電気工学を教えるというものでした。私の語学力が乏しいということもあり、現地の方とうまく意思疎通ができない場面は多かったのですが、今、私にできることをこなしていくと同時に、自分に足りない能力を埋めるために自己研鑽を日々、行っていくというのがタンザニアでの私の日常でした。

タンザニアでコロナが蔓延し始めたのが2020年3月。その1ヶ月後、日本に緊急一時帰国しました。そしてそれから約1年間、再赴任できる日を待っていましたが、結局、それが叶うことはなく再赴任中止が決まりました。今の段階ではこの出来事をポジティブに捉えることは難しいのですが、少なくともタンザニアに派遣される前よりも今の方がタンザニアに対する想いが強くなっているのは事実です。

数年後、この出来事を振り返ったときに国際協力に対する思いをより強くしてくれる出来事であったと思えるように、今感じているやるせない気持ちは、いつかタンザニアに戻れる日まで決して忘れずに持ち続けておこうと思います。



共に生きる TOYAMA

ジョナサン ヤンカ さん (アメリカ・ルイジアナ州出身)

来日のきっかけ

今から17年前、英会話教室の英語講師として働くために来日しました。実は採用が決まるまで日本に来たこともなければ、日本語を勉強したこともありませんでした。期待半分、不安半分で飛行機に乗ったことを覚えています。

当時働いていた英会話教室では、最初に都市部勤務か地方勤務か希望を出すことができたので、私は地方勤務を選びました。そうして配属になったのが富山県だったわけです。富山県との出会いは全くの偶然でした。本当のことを言うと、アメリカにいる頃は富山県のことは知らなかったのですが、結果としてこれが自分には最高の偶然でした。のちに、妻と出会う運命の場所にもなりました。



現在のお仕事について

最初の来日から数年後、英会話教室の雇用期間が終了したので、一度アメリカに帰国しましたが、また、ここ富山県に戻ってきました。職場は変わりましたが、現在も英会話の講師として働いています。

仕事は面白いです。いろいろな人と話すことができることが自分にすごくあっていますから。私の受け持つ生徒さんは大人の方がほとんどです。もちろん仕事の一環ではあるのですが、生徒と様々な話題について議論したり、他愛ない話をしたり、すごく面白いです。日本の文化や日本人の価値観なんかも授業を通して学んだと思います。あとは、いろいろな方言を教えてもらったりするのも面白いですね。「おらっちゃ」とか、「気の毒な」とか。もっとマイナーな滑川弁も話せますよ(笑)

仕事で困ったことと言えば……ないですね。なんといっても英会話教室なので話すのは英語ですし、あんまり言葉で苦労することはありませんでした。おかげで日本語はなかなか上達しないのですが、困ったことといえばそれぐらいですね。日本語は本当に奥が深いです。毎年、私の新年の抱負は「日本語をもっと勉強すること」なのですが、ここ数年ずっと同じことを言っている気がします。自分も英語を教える立場にしながら、なかなかうまくいかないものです。

TICの絵本よみきかせの講師もしていただいているジョナサン先生ですが、幼少期の英語学習について先生の考えを聞かせてください

これまで実際に何人もの生徒さんを見てきましたが、やはり私は幼少期からの語学学習は非常に大切だと思っています。

日本人は英語の勉強というと、どうしてもまずテキストを買って、机に向かって勉強しがちです。それももちろん大切ですが、それでは「会話」はまず上達しません。きっと多くの人はテキストを買って数ページ勉強して満足して終わってしまうのではないのでしょうか。学校でやってきた英語学習のイメージがなかなか抜けないのが原因かなと思います。

やはりネイティブとの会話が一番の上達の近道です。それも0歳、1歳くらいからどんどん耳に慣らしていくことが大切です。

よく、親御さんから、そもそも自分たちが英語を話せないのに子どもにどうやって教えたら良いのかわからない、といった相談も受けますが、私はそれについてはそんなに気にしなくて良いと思っています。最近はyoutube等で英語の絵本の音声や童謡、幼児向け番組等、見たいものはすぐに見られる時代になりました。お子さんの好きそうなものをピックアップして、上手に使ってあげてください。

あとは英語の絵本の読み聞かせもおすすめです。上手に読めなくても良いです。まずやってみることが大切。どんどんチャレンジしてみてください。

富山での生活について

私の生まれたルイジアナは、自然と言えば沼と湿地、いるのはワニとヘビばかりなのですが(笑)、富山の自然は本当に雄大で素晴らしいです。特に立山連峰。雄山も剣岳ももう何度も登りました。本当に素晴らしいところです。ただ、ウィンタースポーツだけはもうこりごりですね。スキーに1回行ってみましたが、もう二度と行きたくない思い出になってしまいました(苦笑)

あとは、なんと言ってもやはり食べ物がおいしいのが富山の素晴らしいところです。お寿司は私の好物になりました。

富山の人はとても親切ですし、富山という土地は本当に住みやすい良いところです。来日からもうそろそろ20年になりますが、もはやここ富山は私の第二の故郷です。これから先もずっとここ富山県で暮らしていきたいと思っています。

Xyyшыyp (ホーショル)

モンゴルでは毎年夏7月に「エリーン・ゴルワン・ナーダム」(男の三競技)という、弓、競馬、相撲を競う大きな夏祭が行われます。その際に必ず食べられるのがこのホーショルです。



～作り方～

1. ボールに強力粉とぬるま湯を加え、手でこねます。耳たぶくらいの固さになったら、上からラップをかけて、30分間休ませます。
2. その間にタネの準備をします。玉ねぎと長ねぎをみじん切りにし、ひき肉に加えます。塩コショウ、サラダ油も加えよく混ぜます。
3. 休ませておいた1の生地を棒状にし、包丁で1cm程度の幅に切り分けます。
4. 打ち粉(強力粉、分量外)をし、切り分けた生地をひとつずつめん棒を使って餃子の皮のように丸く引き伸ばします。
5. 伸ばした生地に2のタネを乗せ、餃子を包むような要領で上下にひだを作りながら包んでいきます。
ポイント: なるべく中の空気を抜きながら包むとGOOD!
6. フライパンに油を1cmほど入れて、弱火～中火で揚げ焼きにします。両面がキツネ色になるまで揚げ焼きしたら完成です。



おすすめの食べ方: 蓋つきのボール等に10分程度置いておくと、生地がやわらかくなり食べやすくなりますよ。

～材料(3～4人前)～

- 〈生地〉
- 強力粉…………… 400g
 - ぬるま湯…………… 300ml
- 〈タネ〉
- 牛ひき肉…………… 500g
 - 玉ねぎ…………… 1個
 - 長ねぎ…………… 適量
 - 塩コショウ…………… 適量
 - サラダ油…………… 50ml

TICからのお知らせ

これからの行事予定

災害時外国人支援ボランティア研修

1. やさしい日本語研修
日 時: 7月3日(土) 14:00～15:30
場 所: 滑川市民交流プラザ 研修室2
2. 多言語翻訳研修(英語、中国語、ポルトガル語)
日 時: 7月11日(日) 14:00～15:30
場 所: 滑川市民交流プラザ 多目的ホール

ナマステインディア

- 7月12日・26日(月) インドのペットカルチャー
 - 8月 2日・23日(月) インド人がよく食べたがる外国料理
 - 9月13日・27日(月) インドでのタブー
- 時 間: 18:30～20:00
場 所: とやま国際センター ラウンジ

国際交流ひろば

- 7月17日(土) 10:00～13:00 「韓国料理」
 - 9月 4日(土) 10:00～13:00 「フランス料理」
- 場 所: 富山県民共生センター「サンフォルテ」調理室

富山県外国人ワンストップ相談センター (Toyama Foreign Resident Support Center)

日常生活等に関することで悩んだり、わからないことがありましたら、お気軽にご相談ください。相談者の個人情報は厳守します。相談料は無料です。電話番号: 076-441-6330

日本語ができない人は、富山県外国人ワンストップ相談センターのトリオフォンで通訳を利用してください。通訳にお金はかかりません。(★トリオフォン専用電話番号: 076-441-5654 または 080-5852-2234)

場 所: (公財)とやま国際センター内
(富山市牛島新町5-5 インテックビル4階)

受付時間: 月～金曜日(祝日を除く)
9:00～17:00

対応言語: 日本語・英語・中国語・ポルトガル語・韓国語・テルグ語・ベトナム語
(上記以外の言語は、タブレット等を使って対応します)各市町村窓口や専門機関と連携した相談が可能です。プライバシーに配慮した個人相談ブースもご用意しております。まずはお気軽にご相談ください。